

三重県連
三事業

災害廃棄物の迅速処理へ

県と協定締結「経験生かす」

(一社)三重県清掃事

業連合会(片野宣之会

長)は3月3日、三重

県と「災害時における

がれき等の廃棄物の処

理に関する応援協定」

を締結した。南海トラ

フ大地震などの大規模

災害時に、会員企業11

社が協力して迅速な廃

棄物の処理を目指すも

の。県庁で協定締結式

が行われ、鈴木英敬知

事と片野会長が協定書

に調印した。

応援協定は、大規模

災害が起こった際、市

町村からの要請を受け

て、県が連合会に協力

を求めるとする内容。

連合会は災害廃棄物の

処理に必要な収集運搬

車両、重機などを提供

するとともに、人員を

派遣して撤去や運搬、

処分を手伝う。県が災

害廃棄物の処理に関す

る応援協定を結ぶの

は、市町や県産業廃棄

物協会、県環境整備事

業協同組合などに統

き、5例目となる。

国の推計では、南海

トラフ大地震が発生し

た場合、全国で東日本

大震災の11倍に当たる

3億5000万トンの廃

棄物が発生すると見込

まれている。鈴木知事

は、「莫大な量の廃棄

物の発生は想定され、

自治体だけでは対処で

協定書に調印した片野会長(右)と鈴木知事



取れるようにしたい」と感謝の言葉を述べた。同連合会は、(一社)全国清掃事業連合会の下部組織として、2008年に発足。13年4月に一般社団法人化した。東日本大震災や紀伊半島大水害では、被災地で廃棄物処理の応援を手掛けた経験を持つ。片野会長は、「迅速に処理しないと、悪臭など衛生上の二次災害が大きくなる。万一の時にはノウハウを生かし、地域の復旧に努めたい」と話した。

きない。一日も早い復興を進めるために、がれき処理が大変重要。われわれにとって時期を得た有意義な協定であり、いざという時にしっかりとした連携が速に処理しないと、悪